



町ぐるみで子どもを育てよう

いの町地域ぐるみ教育

ノーテレビ2005に18家族がチャレンジしました

いの町では、元気な子どもの育成を目指し、基本的な生活習慣の確立に力を入れています。特に、子どもとテレビとの関わりを見直しに重点的に取り組んでいます。その1つとして、ノーテレビに挑戦する「ノーテレビチャレンジ2005」への参加家族を募集したところ、町内18家族から応募があり、11/1～5の5日間挑戦しました。挑戦終了後に提出されたチャレンジ家族からの感想では、テレビを消すことで見えたきたものがたくさんあったようです。

以下に、チャレンジ家族の感想の一部を紹介します。（保護者の感想です。）



見てもいないのにテレビをつけて遊ぶのが習慣になっていて、困っていました。今回のチャレンジではテレビに近づくことは無く、いつも以上に兄弟で遊び回り、笑うこともケンカすることも多く、とてもにぎやかでした。

食事中、今までより会話が増えました。今までは、ニュースを見ながらその内容での会話になっていましたが、テレビを切ると、各々が話をして話題を共有できました。

ノーテレビをすることで早寝早起きもでき、とてもいいチャレンジになりました。大人の私たちも、家の中の静かさが何ともこち良く、宿題の相手をしてあげたり、本を読んだり、心おだやかな夜を過ごせたと思います。

我が家は、だらだらとテレビをつけっぱなしにしていたのですが、ノーテレビにチャレンジしてからは、こまめに消して、親子で本を読む時間が増えました。今までは、子どもと触れ合う時間を随分テレビに取られていたんだなあと感じました。

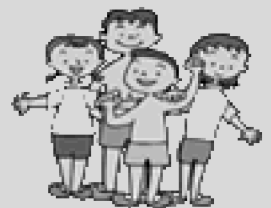
今回のチャレンジで、一番感じたことは、大人が問題だということです。子どもをテレビ等の害から守るのは、大人の意識次第だと思いました。

テレビを見ながら遊ぶことがなくなったので、1つのことに集中できたように思います。朝起きてからも、テレビを見ながら準備をするより早く準備ができたように思います。親子の関わりの方では、一緒に遊ぶ時間や、絵本を読む時間が増えたように思います。

生まれた時からテレビと一緒に育ってきた私たち世代。何だかんだと言っても、テレビのお世話になっています。忙しさにかまけて、テレビに子守りをしてもらっていることも多々ありました。今回、このチャレンジをしてみて、子どもたちの（一緒に遊んでいる時の）輝く瞳、暖かいぬくもりを感じて生活できることの幸せを感じました。

テレビに会話がじゃまされず、お互いに顔を見合わせ、顔と顔、目と目を合わせると、話しがよく通じることに気付かされました。学校の話、友だちの話など、仕事から帰って寝かすまでの短い時間、たいへん貴重な時間だなあと気付かされました。

やっぱりテレビを消すと、今までテレビの音にかき消されていた食事の音がよく聞こえてきました。囁む音、お汁をすする音、熱いものをフーフーさせている音、耳でも食事を楽しむことができました。



ご案内

「のびる吾北の子」研究発表会

吾北地区では「やる気・根気・負けん気」の3つの気をもった吾北の児童生徒の育成を目指し、『児童生徒の基礎学力の定着と学力の向上』に向けて地域ぐるみの取り組みを行っています。今年度の取り組みを総括しながら家庭・学校・地域が学力向上について共に学び合い、高め合う発表会を以下のように開催します。保護者のみなさん、地域のみなさん、ぜひ参加しませんか。

日時 1月15日(日) 13:30～16:30

会場 吾北中学校(上八川甲3047)

日程 13:30～14:20 公開授業

14:40～15:20 分科会 家庭・学校・地域それぞれからの実践発表

15:20～16:20 講演 高知大学教育学部・原田哲夫助教授

「子どもたちの睡眠健康や生活リズムを改善する具体的な方法を考えよう」

問い合わせ先

吾北教育事務所

☎867-2133